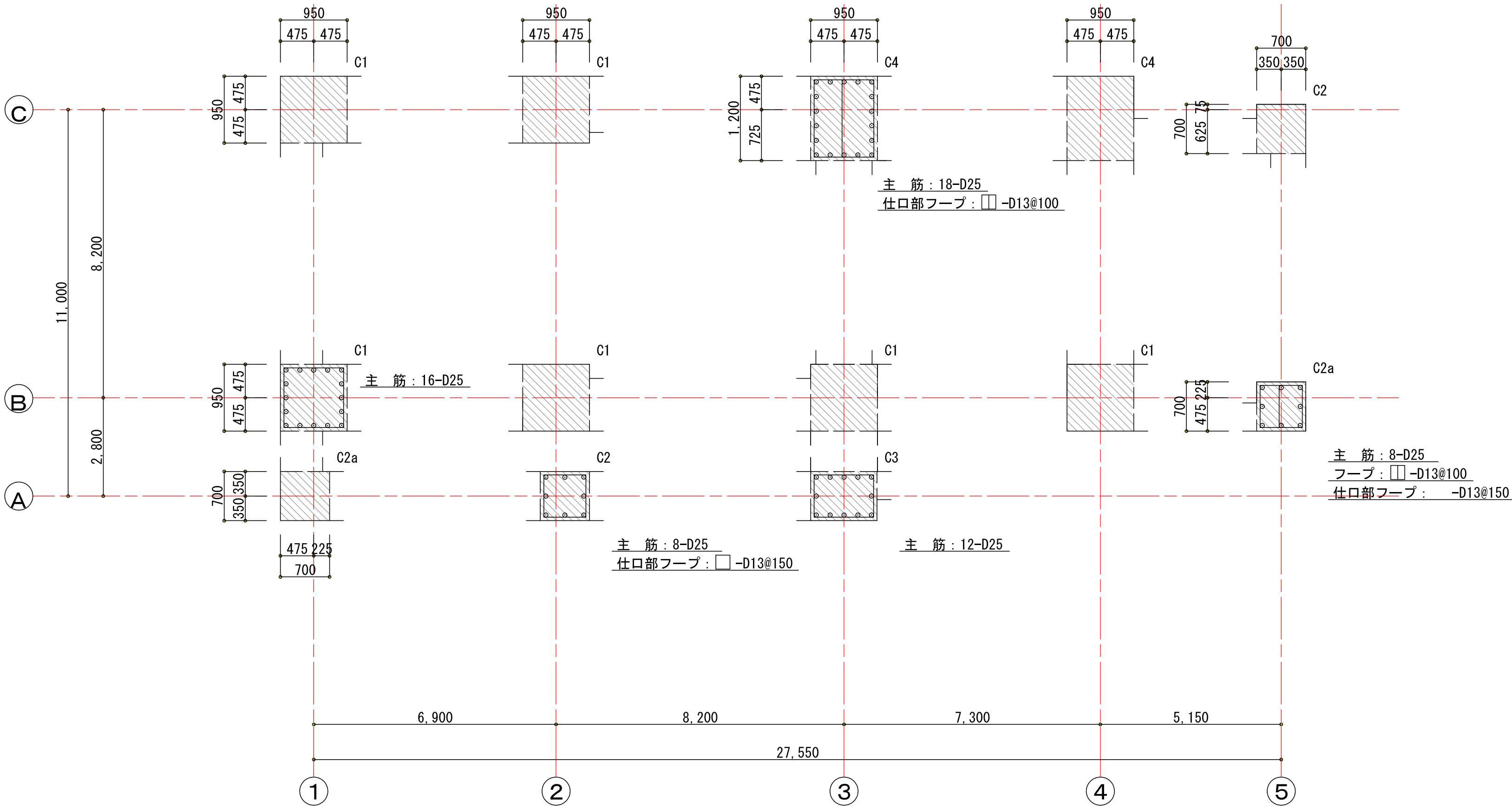


柱芯線図(1) S=1:100

凡 例	
<div></div>	土木工事躯体を示す



B1階 柱芯線図 1:100

共通事項 特記無き限り下表による。

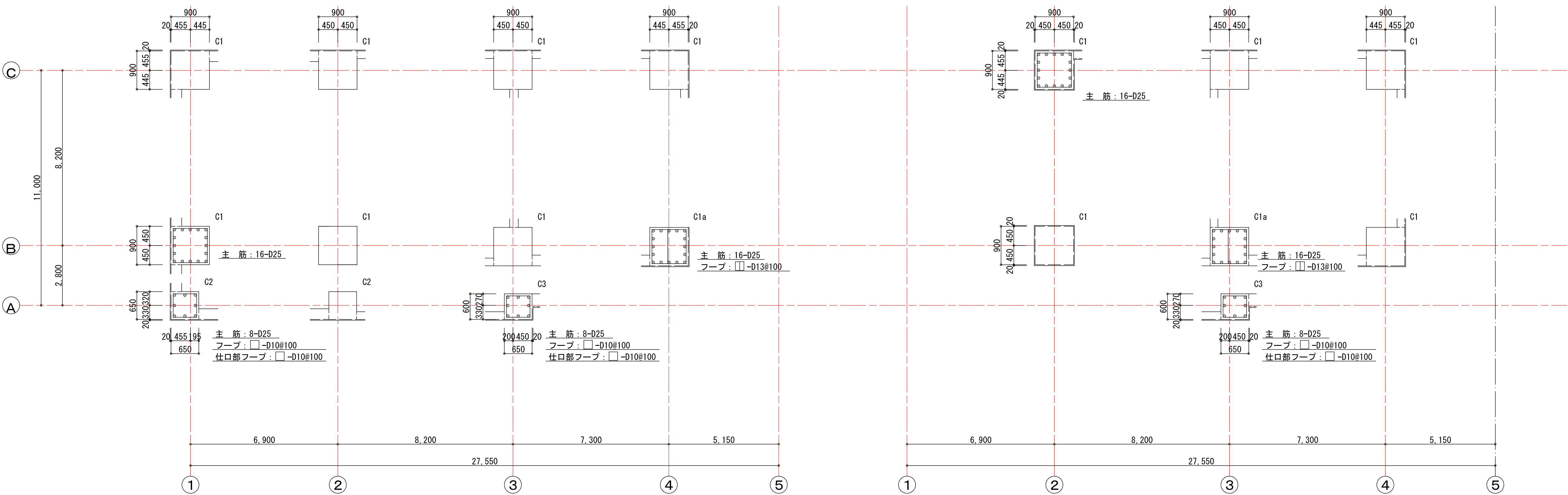
・フープ	□-D13@100
・仕口部フープ	□-D13@125
・ X Y 方向に梁が取付く場合のみ仕口部とし、仕口部範囲は	
柱に取り付く全ての梁せいが重なる範囲とする。	
それ以外はフープと同本数、同ピッチとする。	

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号	
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事			
処理区分名	排水区分		四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内			
図面名称	柱芯線図(1)			
縮尺	1:100		図面番号	S-20
課長	係長	審査	図取	設計
魚沼市産業経済部建設課				

柱芯線図(2) S=1:100



1階 柱芯線図1:100

共通事項 特記無き限り下表による。

・フープ	□-D13@100
・仕口部フープ	□-D13@125
・XY方向に梁が取付く場合のみ仕口部とし、仕口部範囲は	
柱に取り付く全ての梁せいが重なる範囲とする。	
それ以外はフープと同本数、同ピッチとする。	

2階 柱芯線図1:100

共通事項 特記無き限り下表による。

・フープ	□-D13@100
・仕口部フープ	□-D13@125
・XY方向に梁が取付く場合のみ仕口部とし、仕口部範囲は	
柱に取り付く全ての梁せいが重なる範囲とする。	
それ以外はフープと同本数、同ピッチとする。	

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録(いー3)第2633号
一級建築士(大臣)登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	柱芯線図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	S-21
課長	係長	審査	図表
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

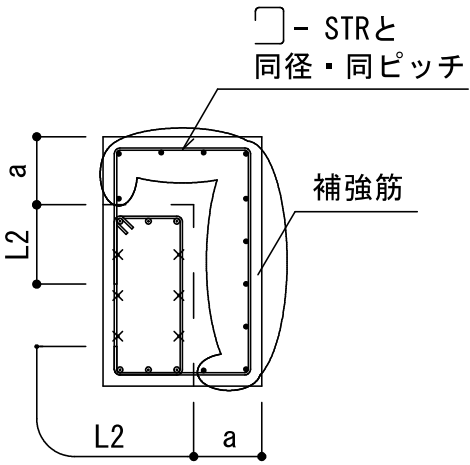
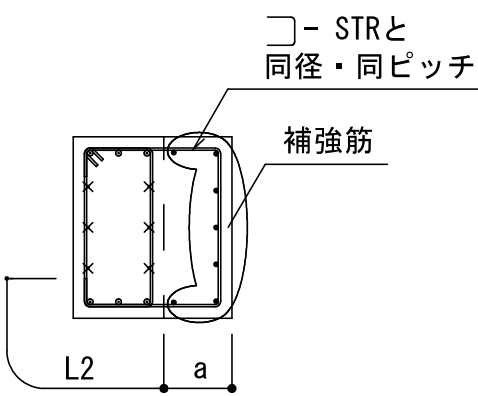
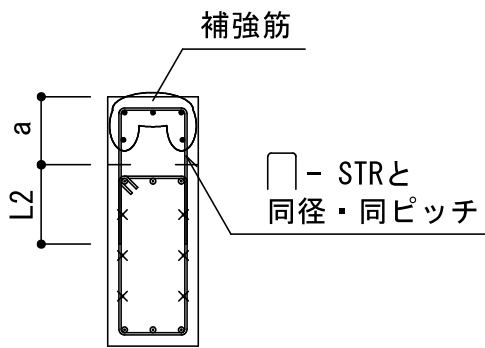
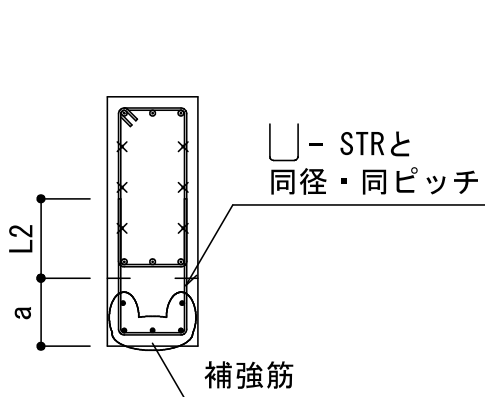
大梁リスト(1)(建築工事)

S=1:30

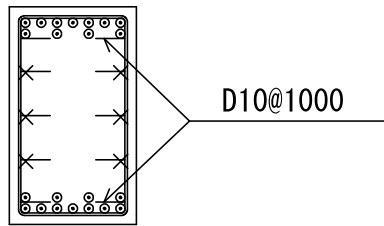
共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D10@1000 とする。

階	符 号	G1	G2						
R	位 置	全断面	左 端	中 央	右 端				
	断 面								
	B x D	450x900	500x1100						
	上 筋	4-D25	6-D25	9-D25	9-D25				
	下 筋	4-D25	6-D25	6-D25	6-D25				
	スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @200						
	腹 筋	4-D10	4-D10						
	符 号	GA	GB			GC			
	位 置	全断面	左 端	中 央	右 端	全断面			
	断 面								
	B x D	500x900	500x900			450x700			
	上 筋	4-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D25			
	下 筋	4-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D25			
	スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @200			2-D13 @200			
	腹 筋	4-D10	4-D10			2-D10			

増打要領図 (200 < a ≦ 1,000)



- ・ a は増打ち厚を示す
- ・ 補強筋は主筋径の2サイズダウン、且つD16以上とする。
- ・ 補強筋ピッチは200以下とする。
※1 増打厚 a (a > 1,000) の場合は、各部配筋図による。
- ※2 増打厚 a (a ≦ 200) の場合は、構造細目による。



2 段目の鉄筋が 3 本以上ある場合の受け用幅止筋

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	大梁リスト(1)		
縮尺	1:30	図面番号	S-22
課長	係長	審査	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

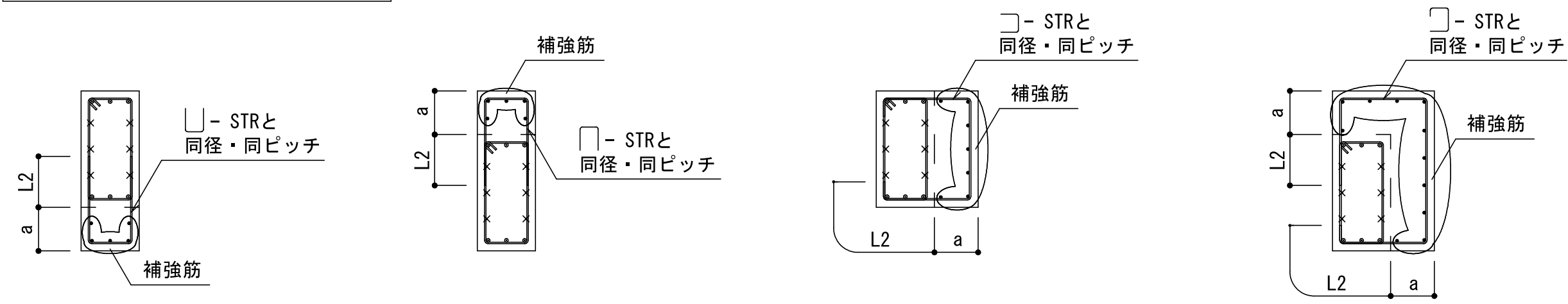
大梁リスト(2)(建築工事)

S=1:30

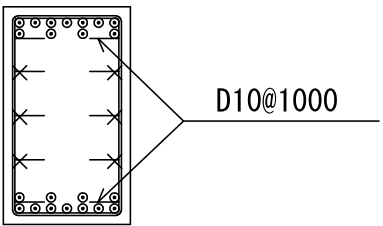
共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D10@1000 とする。

階	符 号	G1	G2	G3		G1a	G2a
2	位 置	全断面	全断面	端 部 中 央		全断面	左 端 中 央 右 端
	断 面						
	B x D	450x900	450x900	450x800		500x1000	500x1000
	上 筋	4-D25	4-D25	5-D25 4-D25		4-D25	6-D25 8-D25 8-D25
	下 筋	4-D25	4-D25	4-D25 4-D25		4-D25	5-D25 5-D25 5-D25
	スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200
	腹 筋	4-D10	4-D10	2-D10		4-D10	4-D10
	符 号	GA	GB	GC	GD		
	位 置	全断面	端 部 中 央	端 部 中 央	全断面		
	断 面						
	B x D	500x900	500x1000	600x950	450x700		
	上 筋	4-D25	8-D25 5-D25	10-D25 6-D25	4-D25		
	下 筋	4-D25	5-D25 6-D25	6-D25 7-D25	4-D25		
	スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @200		
	腹 筋	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10		

増打要領図 (200 < a ≦ 1,000)



- ・ a は増打ち厚を示す
- ・ 補強筋は主筋径の2サイズダウン、且つD16以上とする。
- ・ 補強筋ピッチは200以下とする。
※1 増打厚 a (a > 1,000) の場合は、各部配筋図による。
- ※2 増打厚 a (a ≦ 200) の場合は、構造細目による。



2 段目の鉄筋が 3 本以上ある場合の受け用幅止筋

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	大梁リスト(2)		
縮尺	1:30	図面番号	S-23
課長	係長	審査	課長 設計 測量
魚沼市産業経済部建設課			

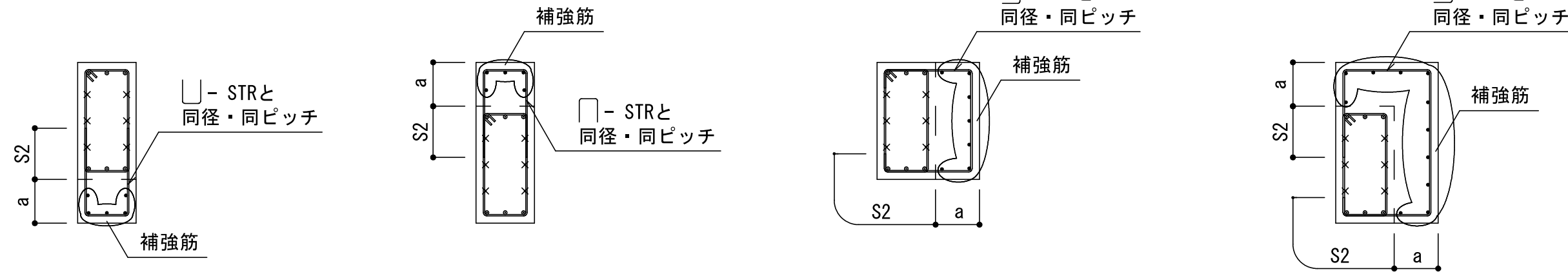
大梁リスト(1)(土木工事)

S=1:30

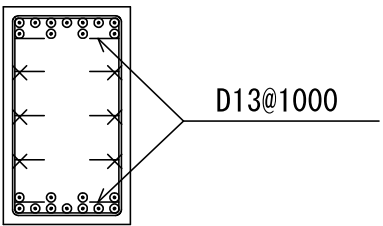
共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D13@1000 とする。

階	符 号	G1	G2	G3	G4	G5	G6
1	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面						
	B x D	500x1100	700x1100	750x1100	800x1100	950x1100	1100x1100
	上 筋	5-D25	7-D25	7-D25	8-D25	9-D25	10-D25
	下 筋	5-D25	7-D25	7-D25	8-D25	9-D25	10-D25
	スタラップ	2-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	4-D13 @200
	腹 筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13
	符 号	G7	G7a	GA	GB	GC	GD
	位 置	全断面	端 部 中 央	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面						
	B x D	500x800	500x800	600x1200	600x2300	500x800	600x1200
	上 筋	4-D25	6-D25 4-D25	6-D25	11-D25	4-D25	6-D25
	下 筋	4-D25	4-D25 4-D25	6-D25	11-D25	4-D25	6-D25
	スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @200	3-D13 @100
	腹 筋	2-D13	2-D13	6-D13	12-D13	2-D13	6-D13

増打要領図 (200 < a ≦ 1,000)



- ・ a は増打ち厚を示す
- ・ 補強筋は主筋径の2サイズダウン、且つD16以上とする。
- ・ 補強筋ピッチは200以下とする。
※1 増打厚 a (a > 1,000) の場合は、各部配筋図による。
- ※2 増打厚 a (a ≦ 200) の場合は、構造細目による。



2 段目の鉄筋が 3 本以上ある場合の受け用幅止筋

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	大梁リスト(3)		
縮尺	1:30	図面番号	S-24
課長	係長	審査	課長 設計 測量
魚沼市産業経済部建設課			

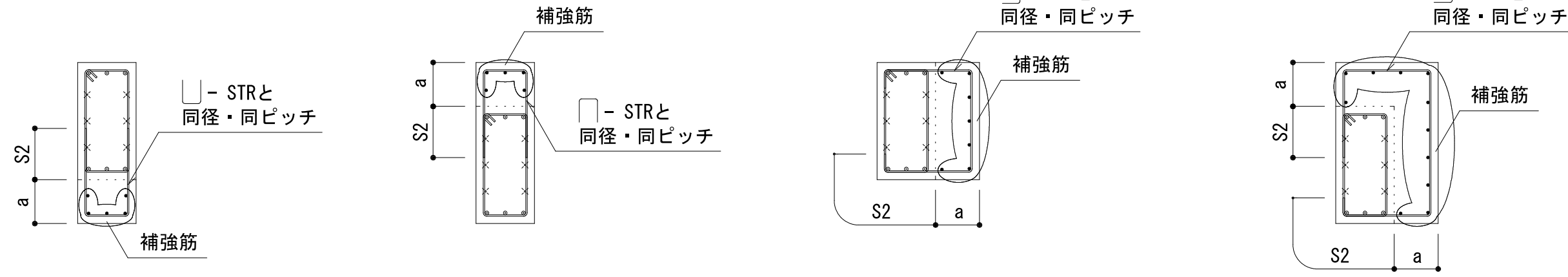
大梁リスト(2)(土木工事)

S=1:30

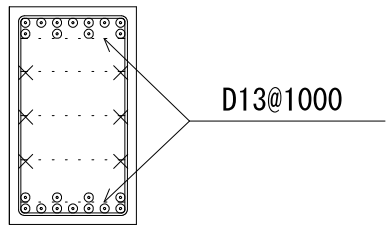
共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D13@1000 とする。

階	符 号	G1	G2	G3	G4		G1a
F	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面
	断 面						
	B x D	950x1500	1200x1500	700x1500	700x1000		750x1500
	上 筋	12-D25	15-D25	9-D25	6-D25		9-D25
	下 筋	12-D25	15-D25	9-D25	6-D25		9-D25
	スタラップ	3-D13 @200	4-D13 @200	3-D13 @100	3-D13 @200		3-D13 @200
	腹 筋	6-D13	6-D13	6-D13	4-D13		6-D13
	符 号	GA	GB	GC	GD	GE	GF
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
	断 面						
	B x D	950x1500	1100x1500	950x2985	1100x1500	600x1500	950x1000
	上 筋	12-D25	14-D25	12-D25	14-D25	8-D25	8-D25
	下 筋	12-D25	14-D25	12-D25	14-D25	8-D25	8-D25
	スタラップ	3-D13 @200	4-D13 @200	3-D13 @200	4-D13 @100	2-D13 @200	4-D13 @100
	腹 筋	6-D13	6-D13	16-D13	6-D13	6-D13	4-D13

増打要領図 (200 < a ≦ 1,000)

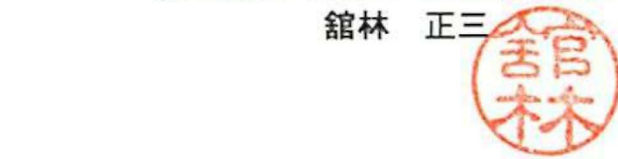


- ・ a は増打ち厚を示す
- ・ 補強筋は主筋径の2サイズダウン、且つD16以上とする。
- ・ 補強筋ピッチは200以下とする。
 - ※ 1 増打厚 a (a > 1,000) の場合は、各部配筋図による。
 - ※ 2 増打厚 a (a ≦ 200) の場合は、構造細目による。



2 段目の鉄筋が3 本以上ある場合の受け用幅止筋

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築工事		
処理区分名	排水区分	四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	大梁リスト(4)		
縮尺	1:30	図面番号	S-25
課長	係長	審査	課長
		設計	測量
魚沼市産業経済部建設課			

小梁リスト (建築工事)

S=1:30

共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D10@1000 とする。

符 号	B1		B2		B3	B4		B5			B6	
位 置	端部	中央	他端	中央、3端	全断面	3端	中央、4端	2端	中央	1端、他端	端部	中央
断 面												
B x D	600x900		500x650		300x600	500x750		400x800			500x850	
上 筋	6-D25		7-D25		3-D19	6-D25		6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25
下 筋	6-D25		5-D25		3-D19	5-D25		4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	9-D25
スタラップ	2-D13 @200		2-D13 @100		2-D10 @200	2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200	
腹 筋	4-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10			2-D10	
符 号	B7		B8		B9	B10		B11				
位 置	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面				
断 面												
B x D	600x850		300x600		350x700	300x850		300x600				
上 筋	6-D25		3-D19		3-D22	3-D22		3-D19				
下 筋	6-D25		3-D19		3-D22	3-D22		3-D19				
スタラップ	2-D13 @200		2-D10 @200		2-D10 @200	2-D10 @200		2-D10 @200				
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10				
符 号	CG1		CG2				<div>増打要領図 (200 < a ≤ 1,000)</div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>					

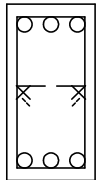
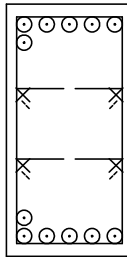
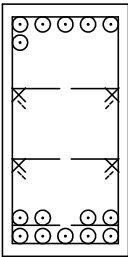
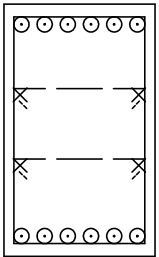
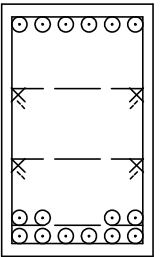
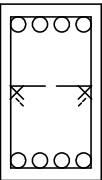
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号	
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事			
処理区分名	排水区分		四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内			
図面名称	小梁リスト(1)			
縮尺	1:30		図面番号	S-26
課長	係長	審査	課長	
			設計	測量
魚沼市産業経済部建設課				

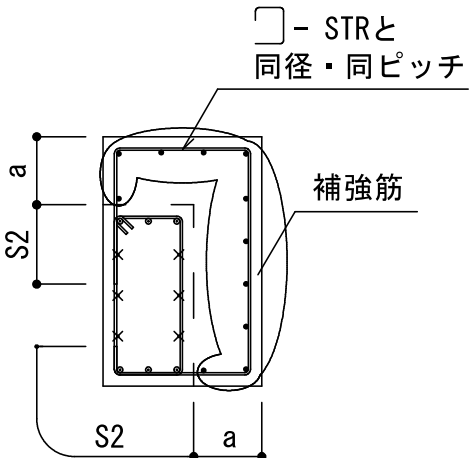
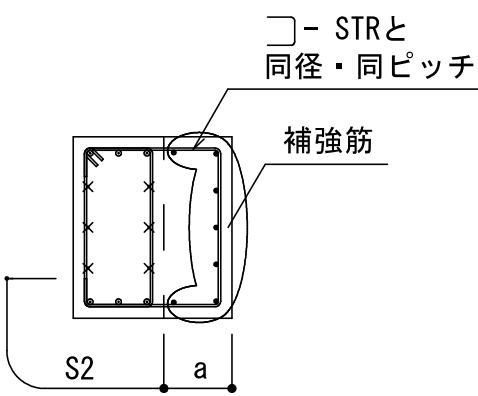
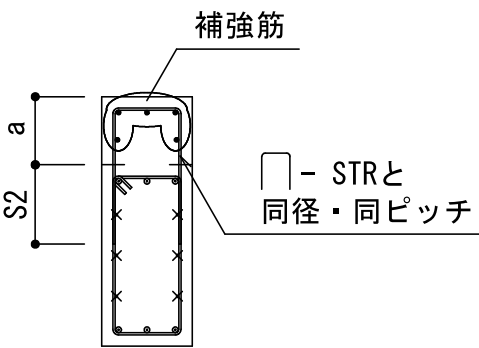
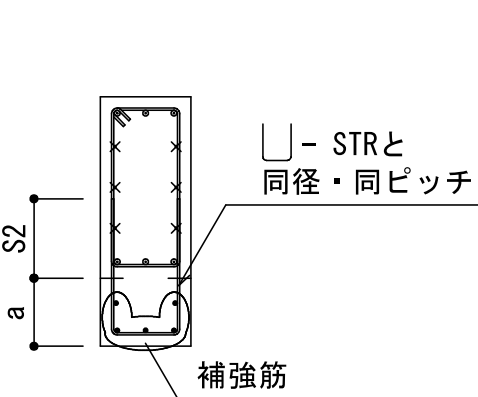
小梁リスト(土木工事)

S=1:30

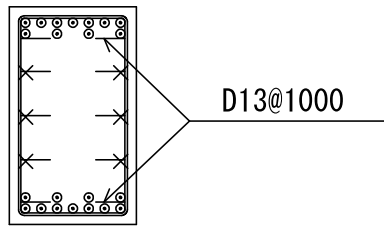
共通事項 特記無き限り 1. 巾止筋 D13@1000 とする。

符 号	B12	B13	B14	B15
位 置	全断面	端部中央	端部中央	全断面
断 面		 	 	
B x D	350x700	500x1000	600x1000	400x700
上 筋	3-D22	6-D256-D25	6-D256-D25	4-D22
下 筋	3-D22	6-D259-D25	6-D2510-D25	4-D22
スタラップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹 筋	2-D13	4-D13	4-D13	2-D13

増打要領図 (200 < a ≦ 1,000)



- ・ a は増打ち厚を示す
- ・ 補強筋は主筋径の2サイズダウン、且つD16以上とする。
- ・ 補強筋ピッチは200以下とする。
 - ※1 増打厚 a (a > 1,000) の場合は、各部配筋図による。
 - ※2 増打厚 a (a ≦ 200) の場合は、構造細目による。



2 段目の鉄筋が 3 本以上ある場合の受け用幅止筋

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	小梁リスト (2)		
縮尺	1:30	図面番号	S-27
課長	係長	審査	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

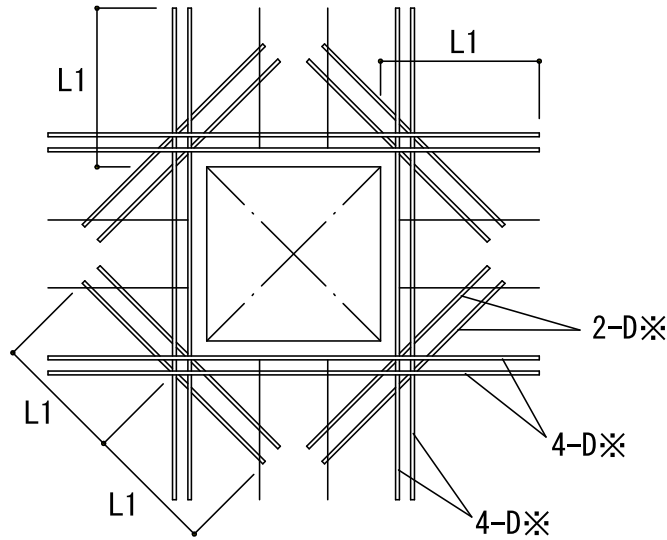
スラブリスト（建築工事）

共通事項 1. 特記なき限り 床開口の最大径≦700の場合は構造細目共通図による。但し、補強筋径は下表による。

符 号	版 厚	位 置	短辺方向		長辺方向		開口補強筋		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	縦横筋	斜 筋	
S15	150	内 外	D10D13@200 ダブル		D10D13@200 ダブル		—	—	
S20	200	上 下	D13 @200 ダブル		D13 @200 ダブル		D13	D13	
S25	250	上 下	D13 @200 ダブル		D13D16@100		—	—	
					D13 @200				
CS25	250	上 下	D13D16@100		D13 @200 ダブル		—	—	
			D13 @200						

スラブ開口部の補強配筋

(1) 開口の最大径＞７００の場合は下図による。
(*一辺でも７００を超える場合に適用する)



注) ※ は、リストの鉄筋径とする。

壁リスト（建築工事）

共通事項 1. 特記なき限り 巾止筋 D10@1000とする。

符 号	壁 厚	位 置	縦 筋		横 筋		開口補強筋		備 考
			頭 部	脚 部	端 部	中 央	縦横筋	斜 筋	
W15	150	内 外	D10 @150 シングル		D10 @150 シングル		2-D13	1-D13	
W18	180	内 外	D10 @150 ダブル		D10 @150 ダブル		4-D13	2-D13	
W20	200	内 外	D10 @150 ダブル		D10 @150 ダブル		4-D13	2-D13	
W30	300	内 外	D13 @200 ダブル		D13 @200 ダブル		4-D16	2-D13	
W18a	180	内	D13 @200 ダブル		D13 @200 ダブル		4-D13	2-D13	
EW18	180	内 外	D10 @150 ダブル		D10 @150 ダブル		4-D13	2-D13	
EW20	200	内 外	D10 @150 ダブル		D10 @150 ダブル		4-D13	2-D13	
EW25	250	内 外	D13 @200 ダブル		D13 @200 ダブル		4-D16	2-D13	

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事 番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	壁・スラブリスト(1)		
縮尺		図面番号	S-28
課長		係長	審査
		調査	設計
			測量
魚沼市産業経済部建設課			

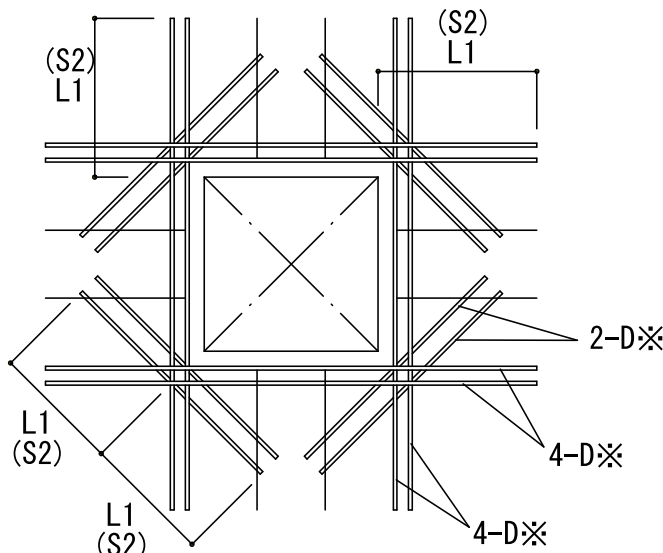
スラブリスト(土木工事)

共通事項 1. 特記なき限り 床開口の最大径≦700の場合は構造細目共通図による。但し、補強筋径は下表による。

符 号	版 厚	位 置	短辺方向		長辺方向		開口補強筋		せん断補強筋	備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	縦横筋	斜 筋	全 面	
S30	300	上 下	D13	@200 ダブル	D13	@200 ダブル	D16	D13	――	
S40	400	上 下	D16	@200 ダブル	D16	@200 ダブル	D19	D16	――	
S40A	400	上 下	D16	@200 ダブル	D16	@200 ダブル	D19	D16	2. 5-D13@100	
FS70	700	上 下	D19	@200 ダブル	D19	@200 ダブル	―	―	――	
FS100	1000	上 下	D25	@200 ダブル	D25	@200 ダブル	―	―	2. 5-D13@200	
FS150	1500	上 下	D29	@200 ダブル	D29	@200 ダブル	―	―	2. 5-D13@200	
FS150A	1500	上 下	D29	@200 ダブル	D29	@200 ダブル	―	―	2. 5-D13@200	B通から5200mmの範囲は5. 0-D13@200とする。
CS30	300	上 下	D13	@200 ダブル	D13	@200 ダブル	―	―	――	

スラブ開口部の補強配筋

(1) 開口の最大径＞７００の場合は下図による。
(*一辺でも７００を超える場合に適用する)



注) ※ は、リストの鉄筋径とする。
土木工事範囲の場合は L1→S2 とする。

壁リスト(土木工事)

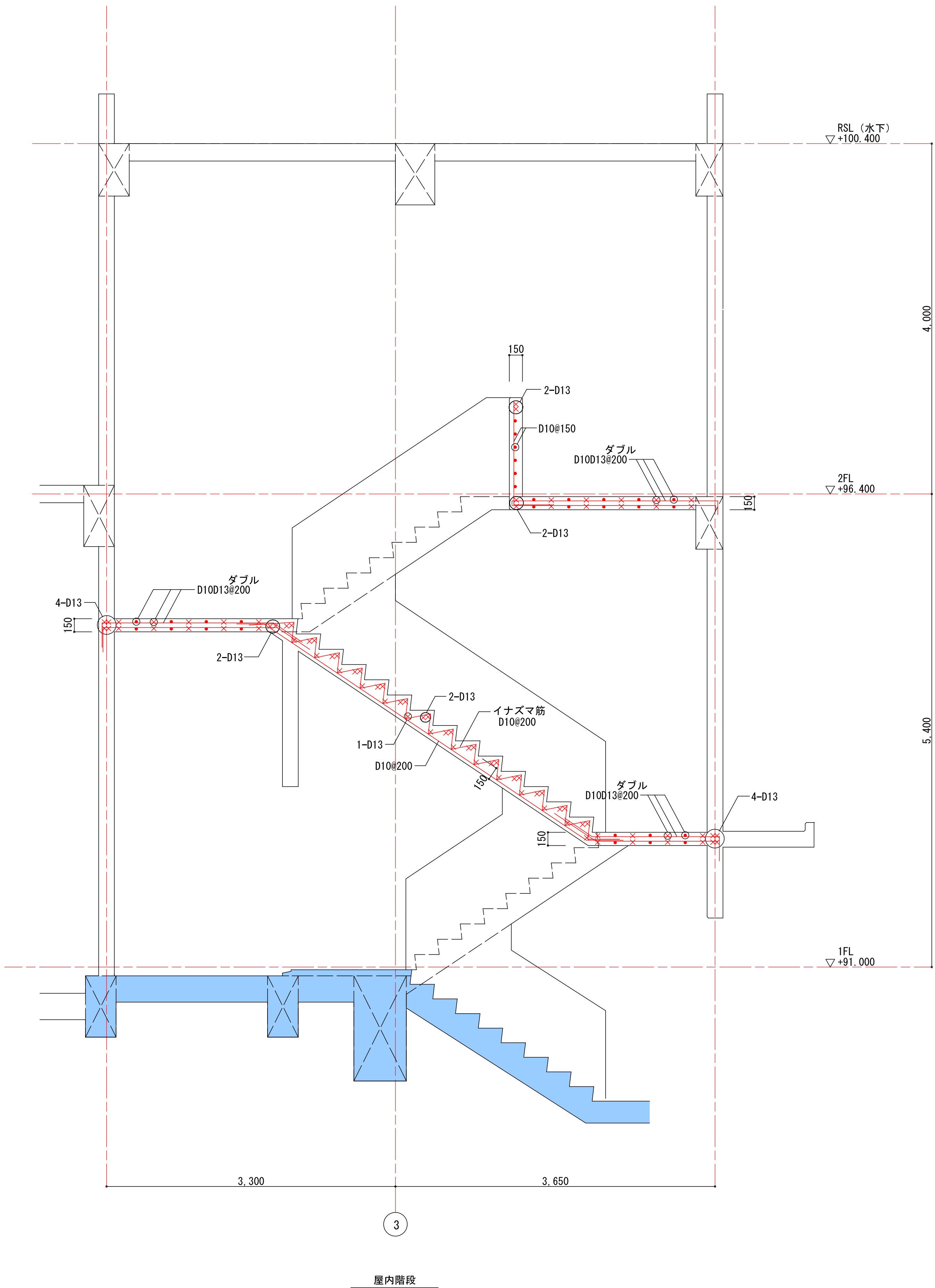
共通事項 1. 特記なき限り 巾止筋 D13@1000とする。2. 壁の補強筋範囲は、内法高さHoの1/3以上とする。但し、曲げ補強筋の余長は別途考慮する。

符 号	壁 厚	位 置	縦 筋			横 筋		開口補強筋		せん断補強筋		端 部	備 考
			頭 部	中 央	脚 部	端 部	中 央	縦横筋	斜 筋	頭 部	脚 部		
W20	200	内 外	D13 @200 ダブル			D13 @200 ダブル		4-D13	2-D13	――	――	――	
W30	300	内 外	D13 @200 ダブル			D13 @200 ダブル		4-D16	2-D13	――	――	――	
W40	400	内 外	D16 @200 ダブル			D16 @200 ダブル		4-D19	2-D16	――	――	――	
W40A	400	内 外	D16 @200 ダブル			D16 @200 ダブル		4-D19	2-D16	――	2. 5-D13@100	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+86. 300)より1. 300mまでとする。
W50	500	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	――	――	
W60	600	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	――	――	
W75	750	内 外	D22 @200 ダブル D19D22@100 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	5. 0-D13@200	5. 0-D13@200	5. 0-D13@200	
W80	800	内 外	D22 @200 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	――	――	――	
W90	900	内 外	D22 @200 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	――	――	――	
W95	950	内 外	D22 @200 ダブル D19D22@100 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	5. 0-D13@200	5. 0-D13@200	5. 0-D13@200	
W100	1000	内 外	D25 @200 ダブル			D25 @200 ダブル		4-D29	2-D25	――	――	――	
EW50	500	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	――	――	
EW50A	500	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	2. 5-D13@200	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+85. 900)より1. 100mまでとする。
EW60	600	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	2. 5-D13@200	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+84. 315)より1. 900mまでとする。
EW70	700	内 外	D19 @200 ダブル			D19 @200 ダブル		4-D22	2-D19	――	――	――	
EW75	750	内 外	D22 @200 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	――	――	――	
EW80	800	内 外	D22 @200 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	――	2. 5-D13@200	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+84. 315)より2. 800mまでとする。
EW95	950	内 外	D22 @200 ダブル			D22 @200 ダブル		4-D25	2-D22	――	2. 5-D13@200	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+84. 315)より2. 200mまでとする。
EW120	1200	内 外	D25 @200 ダブル			D25 @200 ダブル		4-D29	2-D25	――	2. 5-D13@200	――	せん断補強筋範囲は底版上端(+85. 800)より1. 600mまでとする。

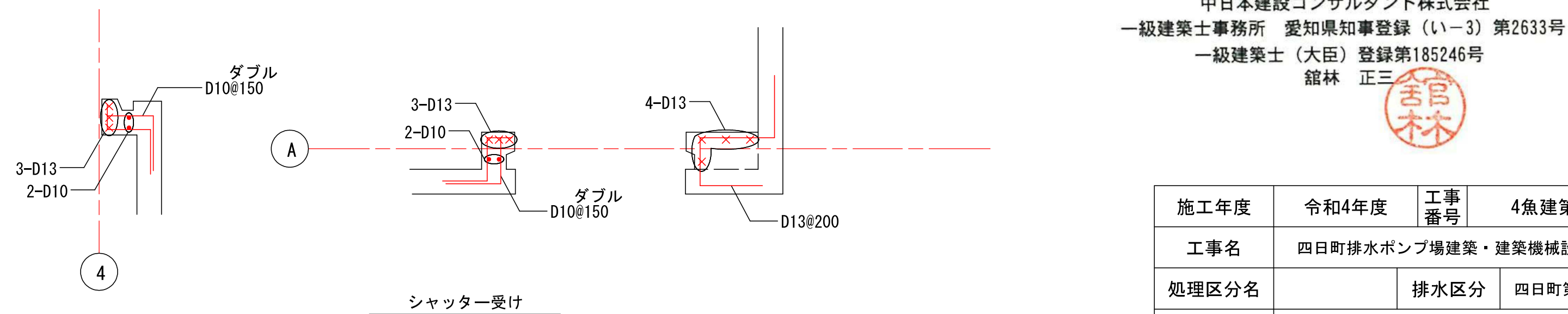
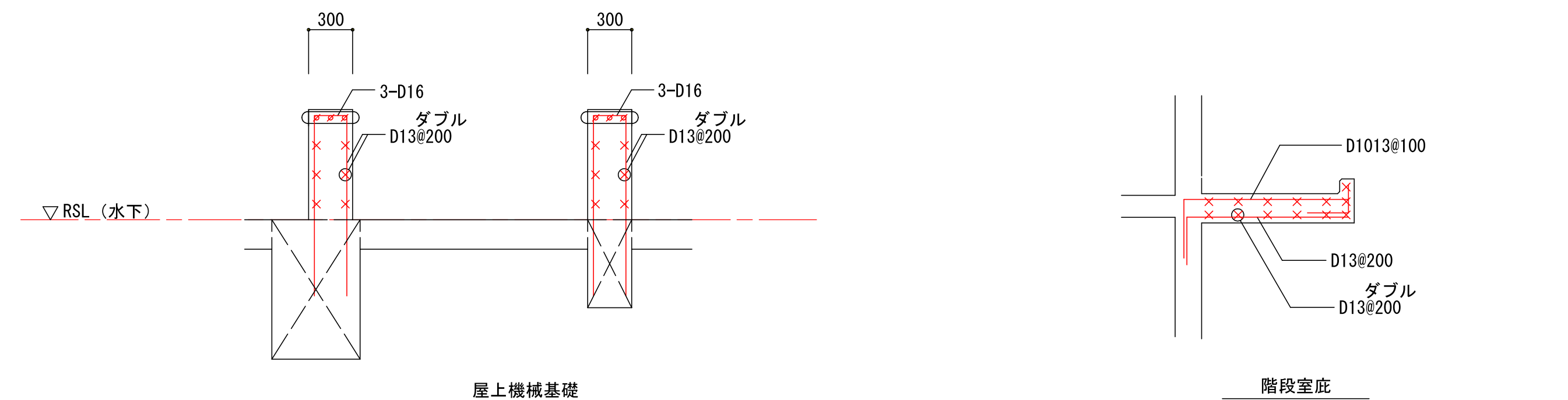
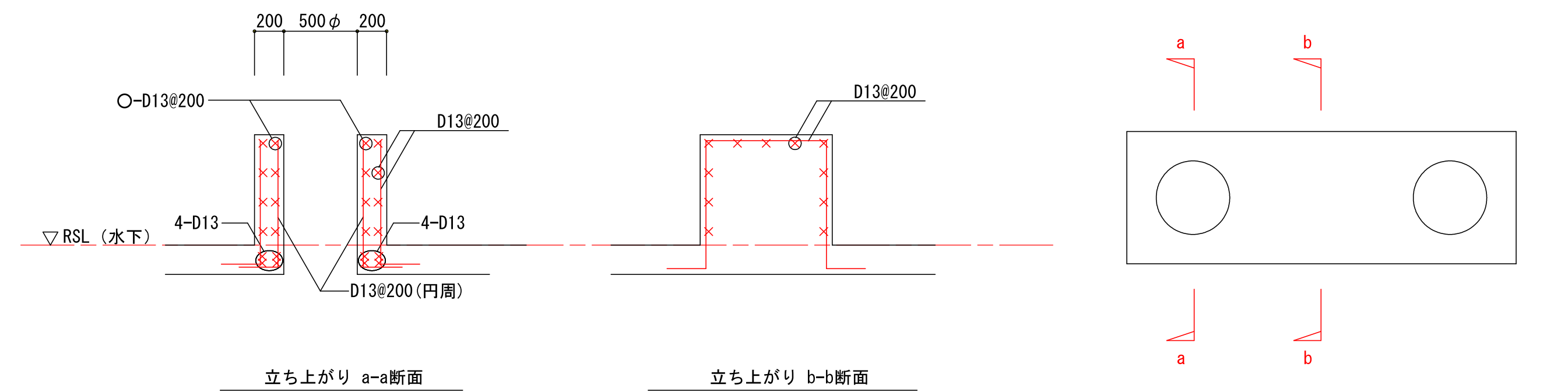
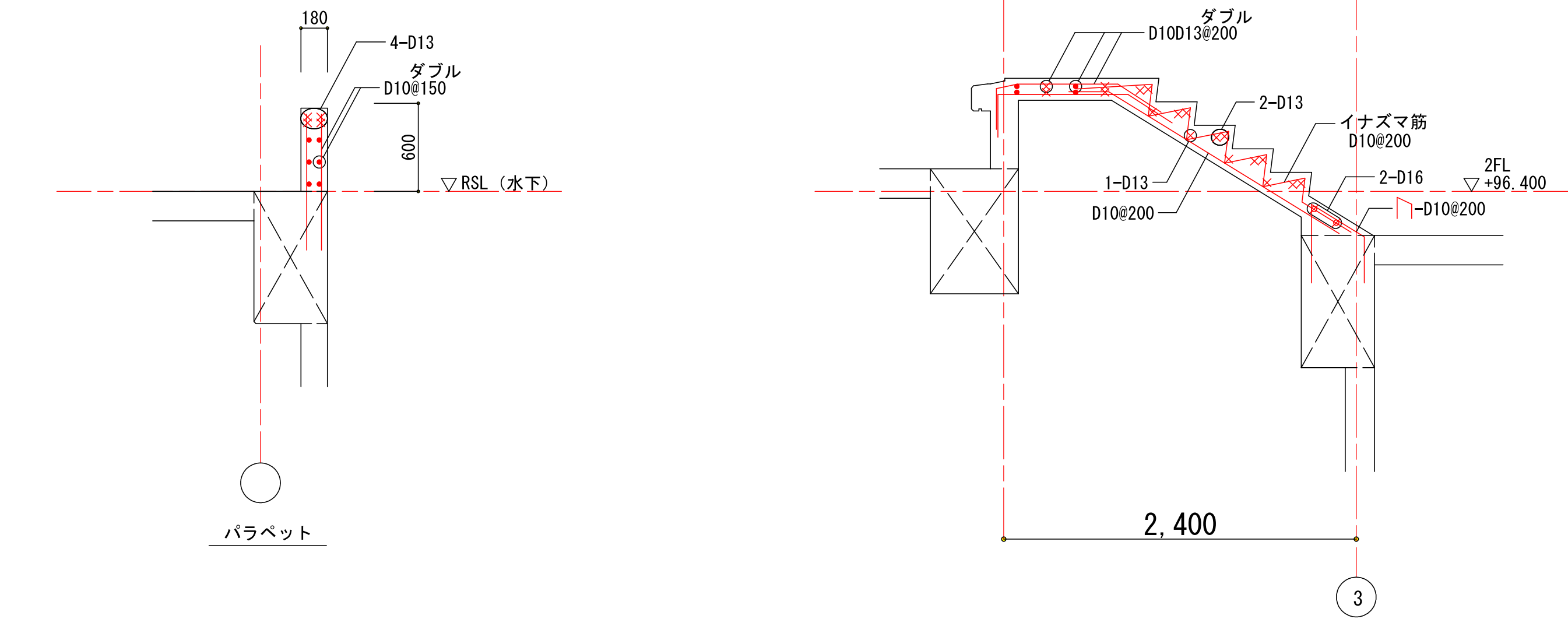
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	壁・スラブリスト（２）		
縮尺		図面番号	S-29
課長		係長	
審査		図章	
設計		測量	
魚沼市産業経済部建設課			

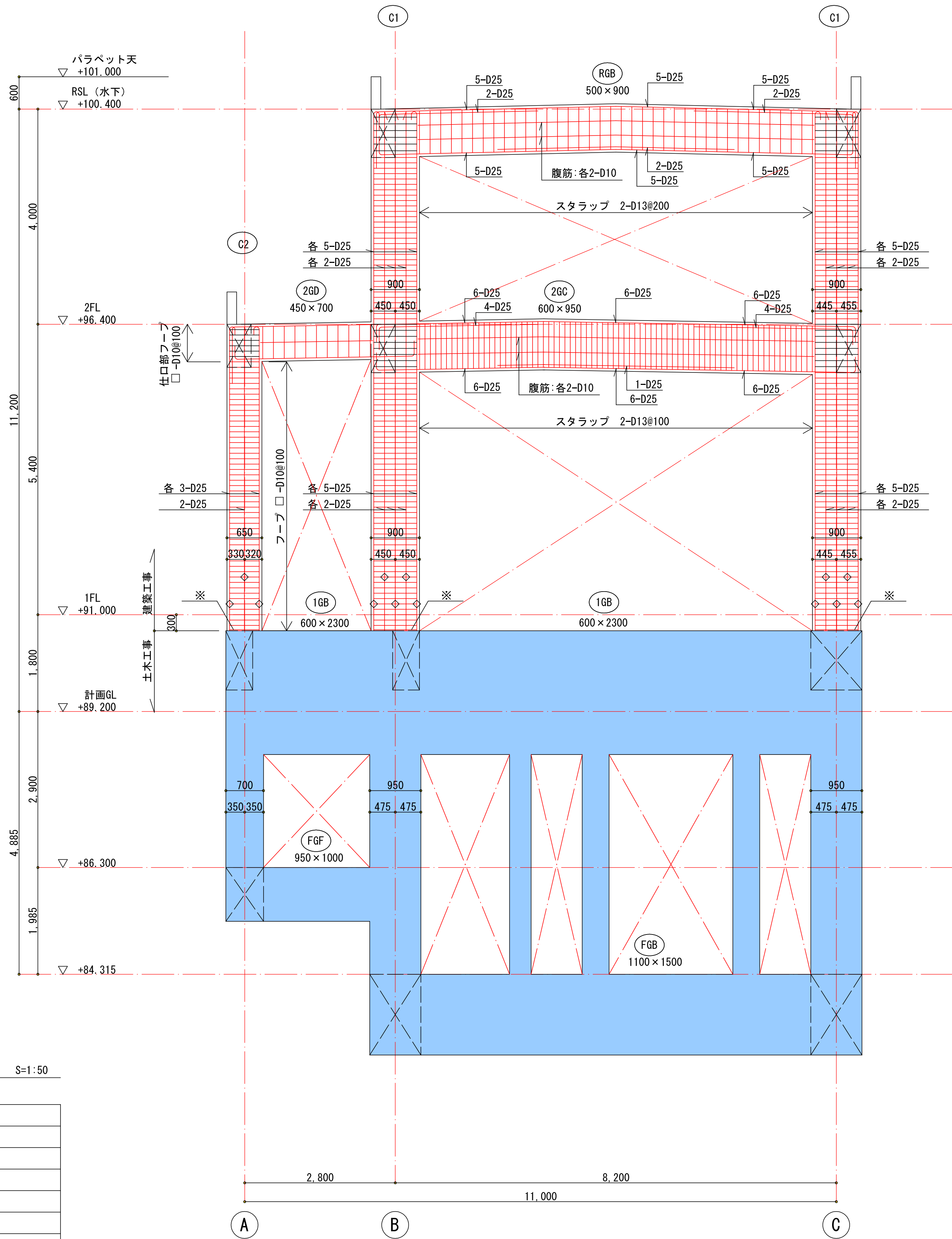


凡例	
	土木工事躯体面を示す。



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号		
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事				
処理区分名			排水区分	四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内				
図面名称	各部配筋図				
縮尺	1:30		図面番号	S-30	
課長	係長		審査	課長	設計
					測量
魚沼市産業経済部建設課					



2 通架構配筋図

S=1:50

共通事項 特記無き限り下表による。

・ 柱
フープ □ -D13@100
仕口部フープ □ -D13@125
・ ※ 印は、同径二重巻きとする。
・ ◇ 印は、建築工事圧接箇所を示す。
・ × Y 方向に梁が取付く場合のみ仕口部とし、仕口部範囲は柱に取り付く全ての梁せいが重なる範囲とする。
それ以外はフープと同本数、同ピッチとする。

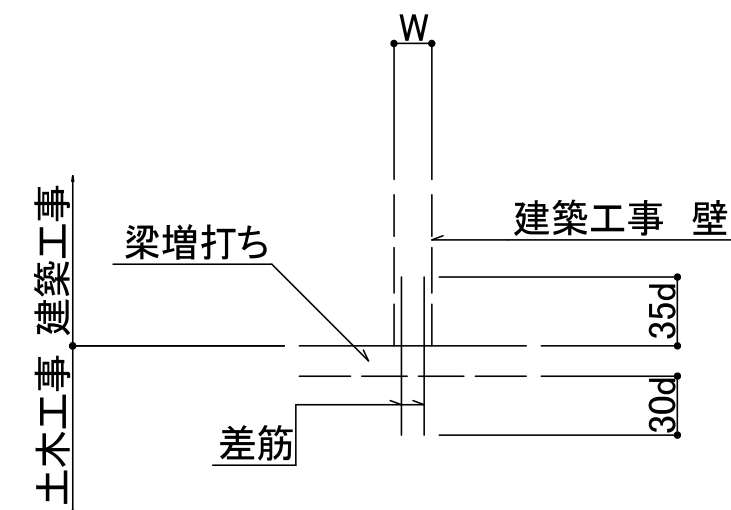
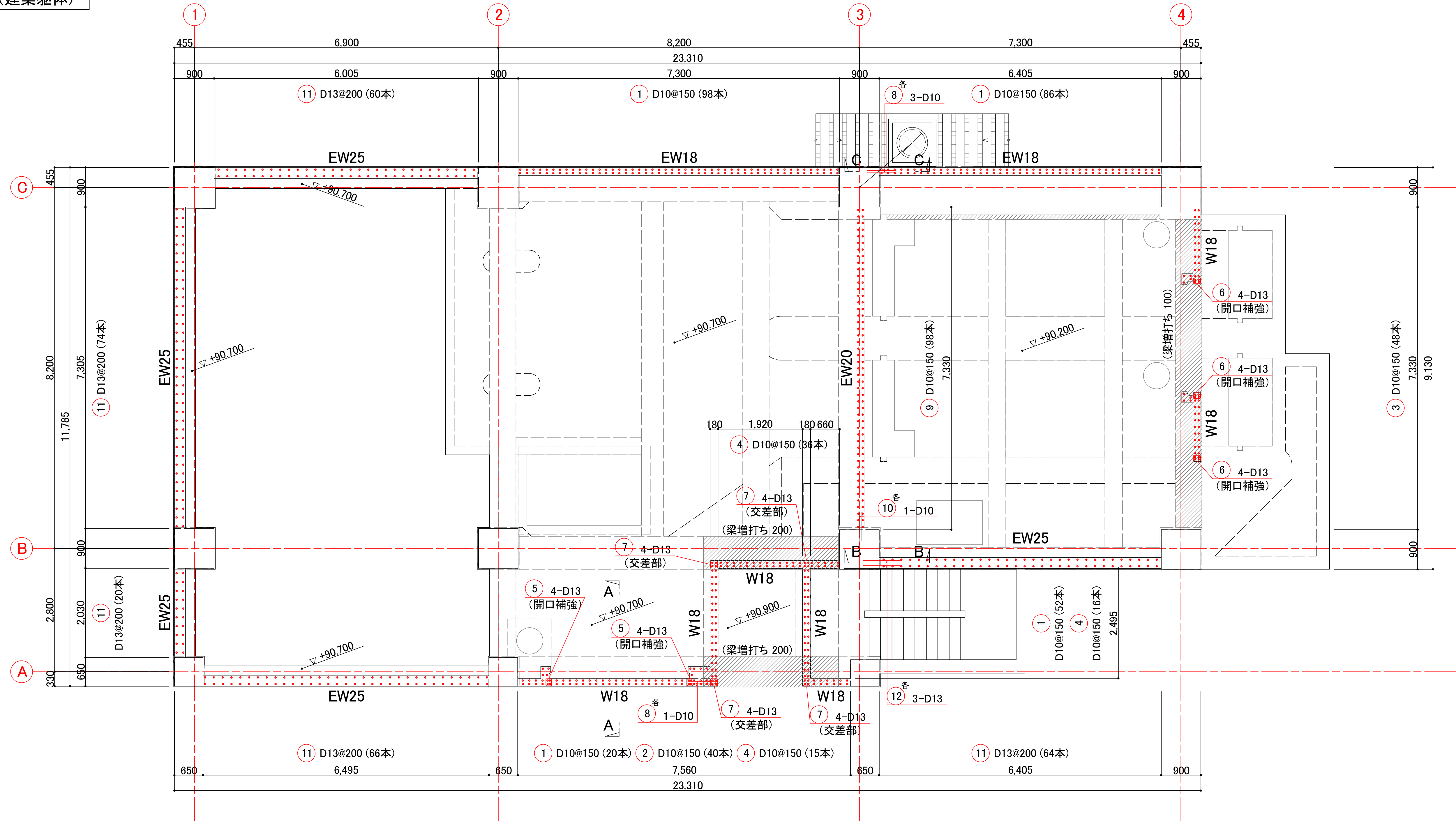
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



凡例	
<div></div>	土木工事躯体面を示す。

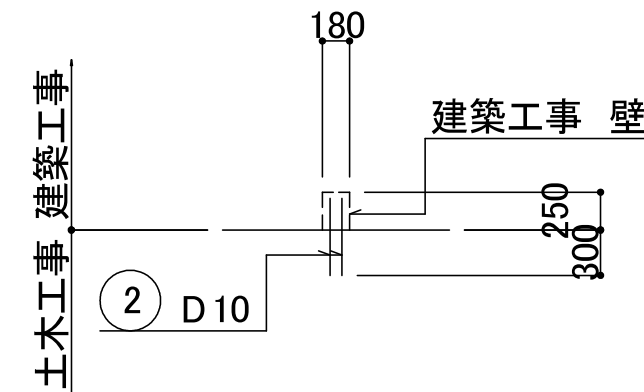
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	架構配筋図		
縮尺	1:50	図面番号	S-31
課長	係長	審査	設計
魚沼市産業経済部建設課			

差筋図(建築躯体)



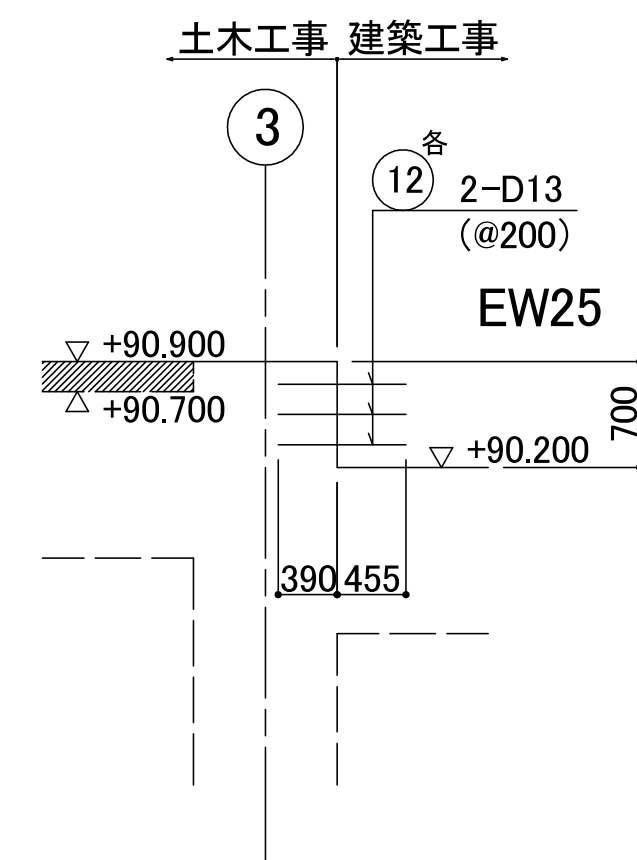
標準部寸法表 及び 適用鉄筋番号

部材	増打ち厚	径	適用鉄筋番号	鉄筋長
W18 EW18	0	D10	①	650
	100	D10	③	750
	200	D10	④	850
	0	D13	⑤	845
	100	D13	⑥	945
	200	D13	⑦	1045
EW20	0	D10	⑨	650
EW25	0	D13	⑪	845



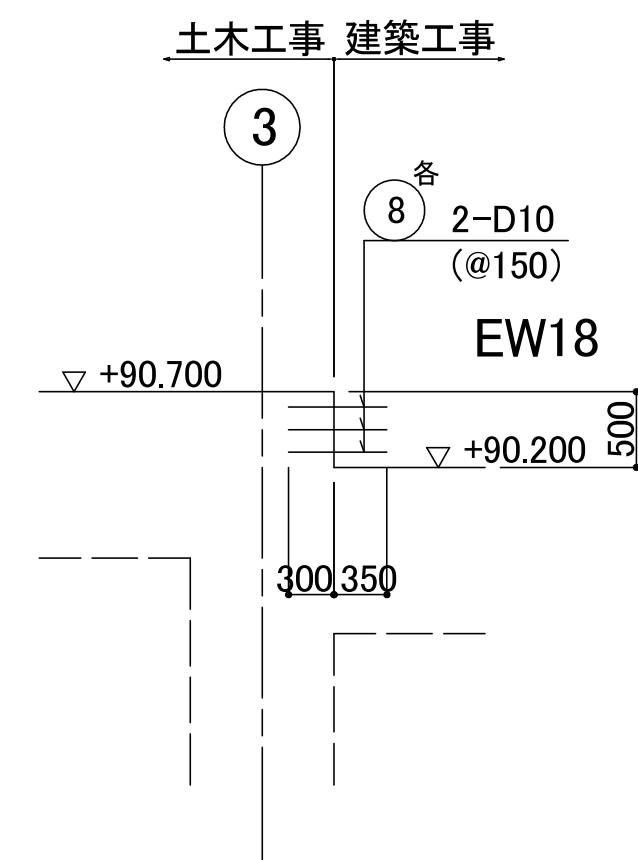
A-A 断面図

[B通り壁]



B-B 断面図

[C通り壁]



C-C 断面図

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号		
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事				
処理区分名			排水区分	四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内				
図面名称	差筋図（建築躯体）				
縮尺	1:50		図面番号	S-32	
課長	係長	審査	調査	設計	測量
魚沼市産業経済部建設課					

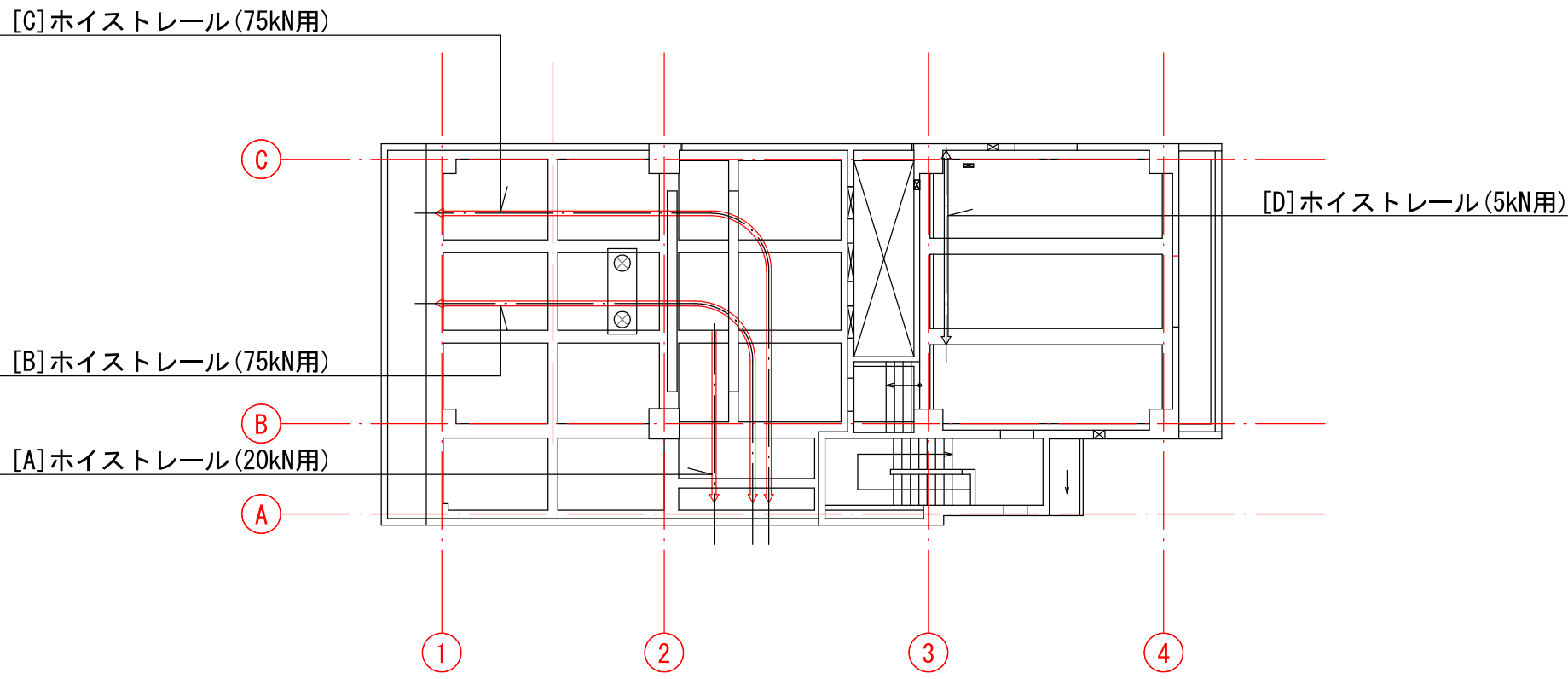
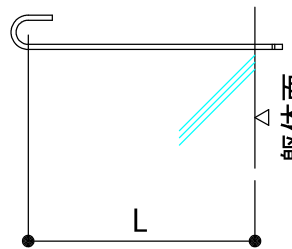
ホイストレール取付詳細図(1)
 S-1:20

- 共通事項

 - 鋼材は、SS400とする。
 - 高力ボルトは、F8T（溶融亜鉛メッキボルト）とする。
 - 鋼材は、溶融亜鉛メッキとする。
 - ストッパー位置は、現場合わせとする。
 - アンカーボルト、高力ボルトは、締めつけ後メッキ塗装とする。
 - アンカーボルト M20は、埋込み長 L=600, 2重ナット締め、フック付とする。
 - 各プレート寸法は現場で測量後、適宜調整すること

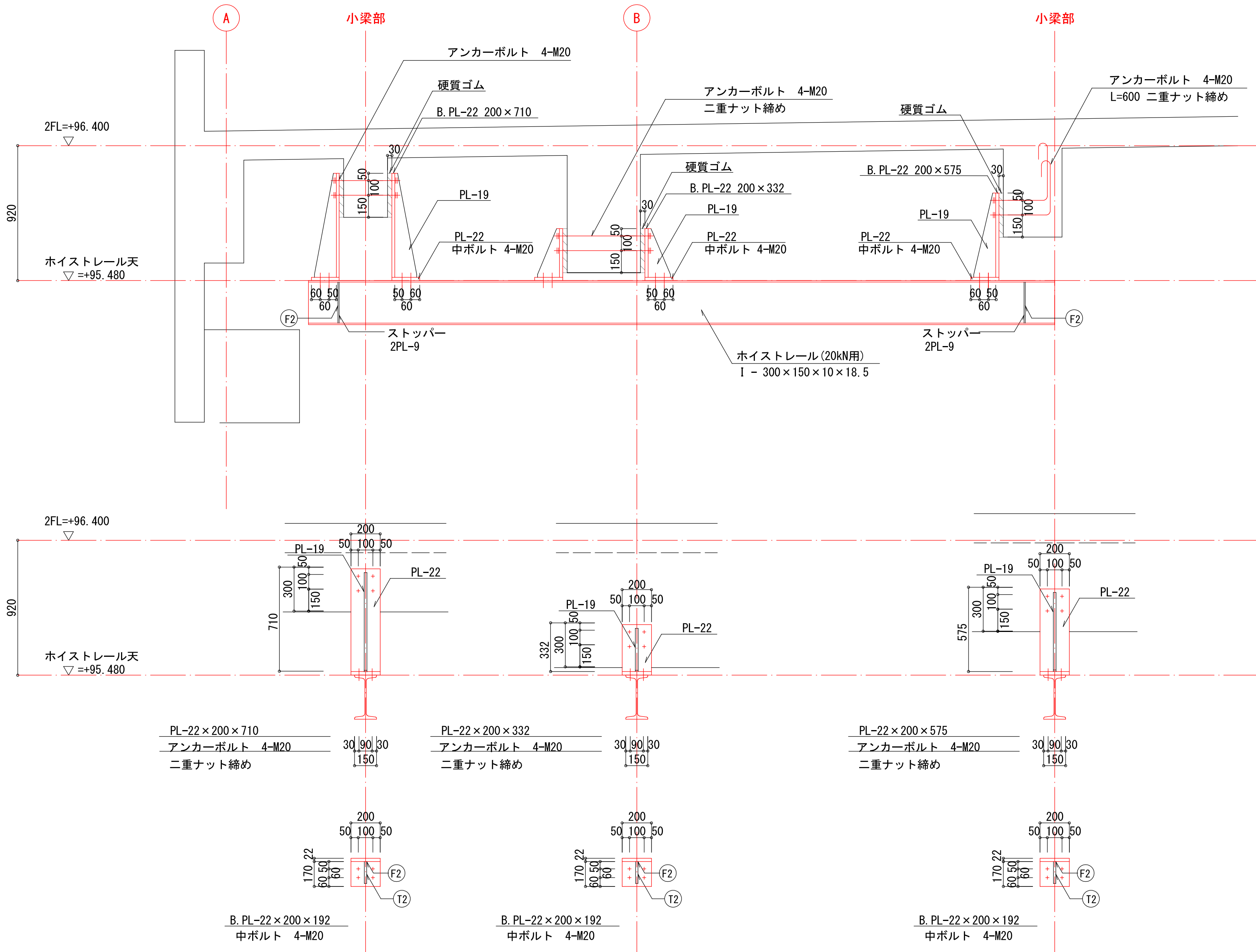
溶接記号凡例	
(F1)	隅肉溶接（片面）
(F2)	隅肉溶接（両面）
(T1)	完全溶込み溶接 T形継手（片面）

アンカーボルト長さ埋込み長さL



2F KEY PLAN

・◇印は、ホイストレール支点を示す。



中日本建設コンサルタント株式会社
 一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
 一級建築士（大臣）登録第185246号
 館林 正三

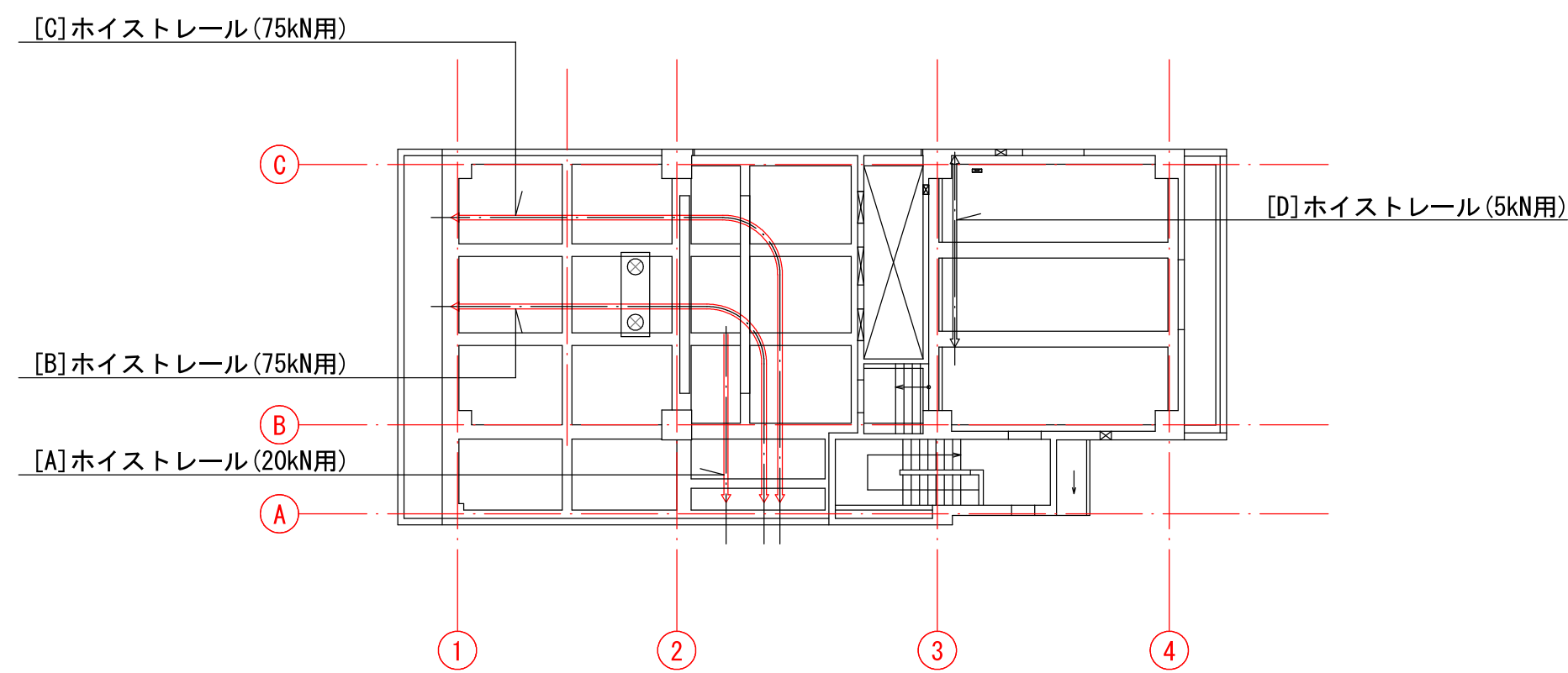


施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	ホイストレール取付詳細図(1)		
縮尺	1:20	図面番号	S-33
課長	係長	審査	調査
魚沼市産業経済部建設課			

共通事項

- ・鋼材は、SS400とする。
- ・高力ボルトは、F8T（溶融亜鉛メッキボルト）とする。
- ・鋼材は、溶融亜鉛メッキとする。
- ・スッター位置は、現場合わせとする。
- ・アンカーボルト、高力ボルトは、締めつけ後メッキ塗装とする。
- ・アンカーボルト M20は、埋込み長 L=600、2重ナット締め、フック付とする。
- ・各プレート寸法は現場で測量後、適宜調整すること

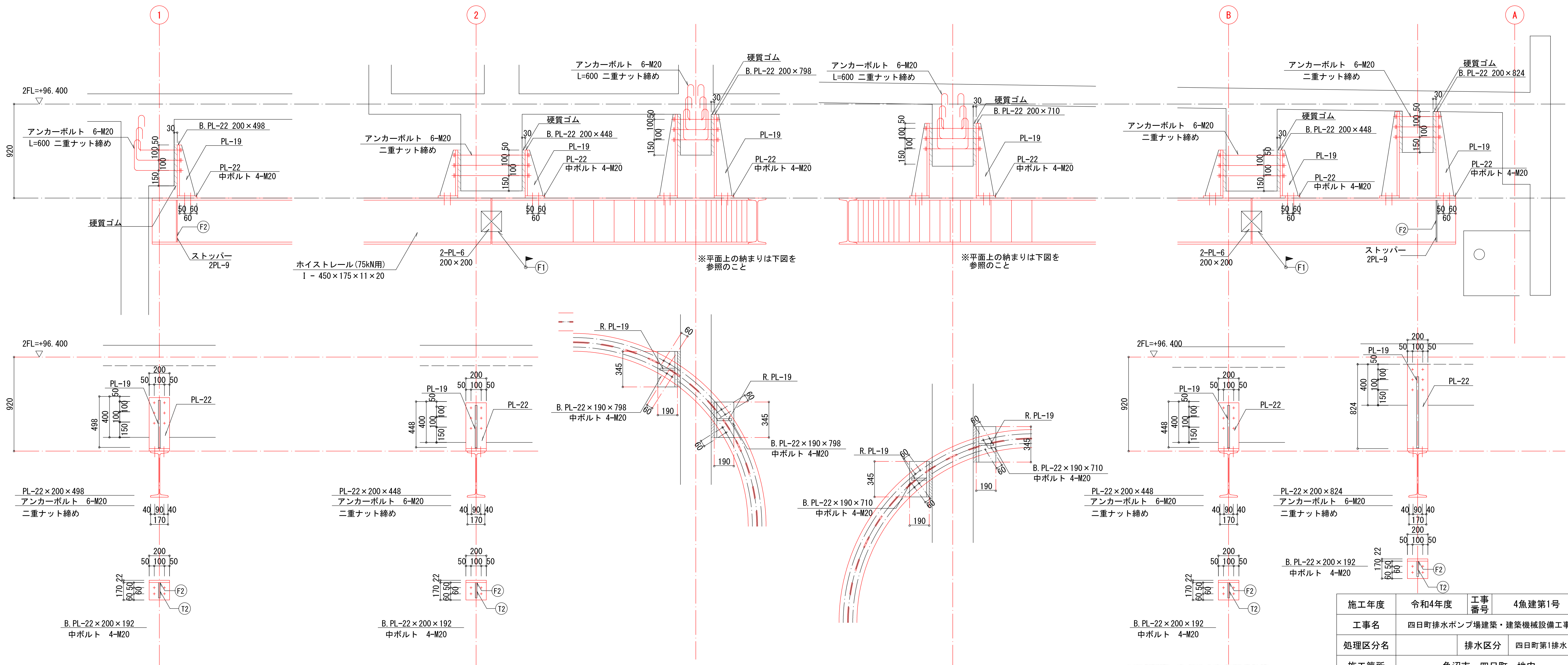
溶接記号凡例	
(F1)	隅肉溶接（片面）
(F2)	隅肉溶接（両面）
(T1)	完全溶込み溶接 T形継手（片面）



2F KEY PLAN

- 印は、ホイストレール支点を示す。

[B] ホイストレール 75kN用 : I - 450×175×11×20



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号		
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事				
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区		
施工箇所	魚沼市 四日町 地内				
図面名称	ホイストレール取付詳細図(2)				
縮尺	1:20		図面番号	S-34	
係長	審査	調査	設計	測量	

魚沼市産業経済部建設課

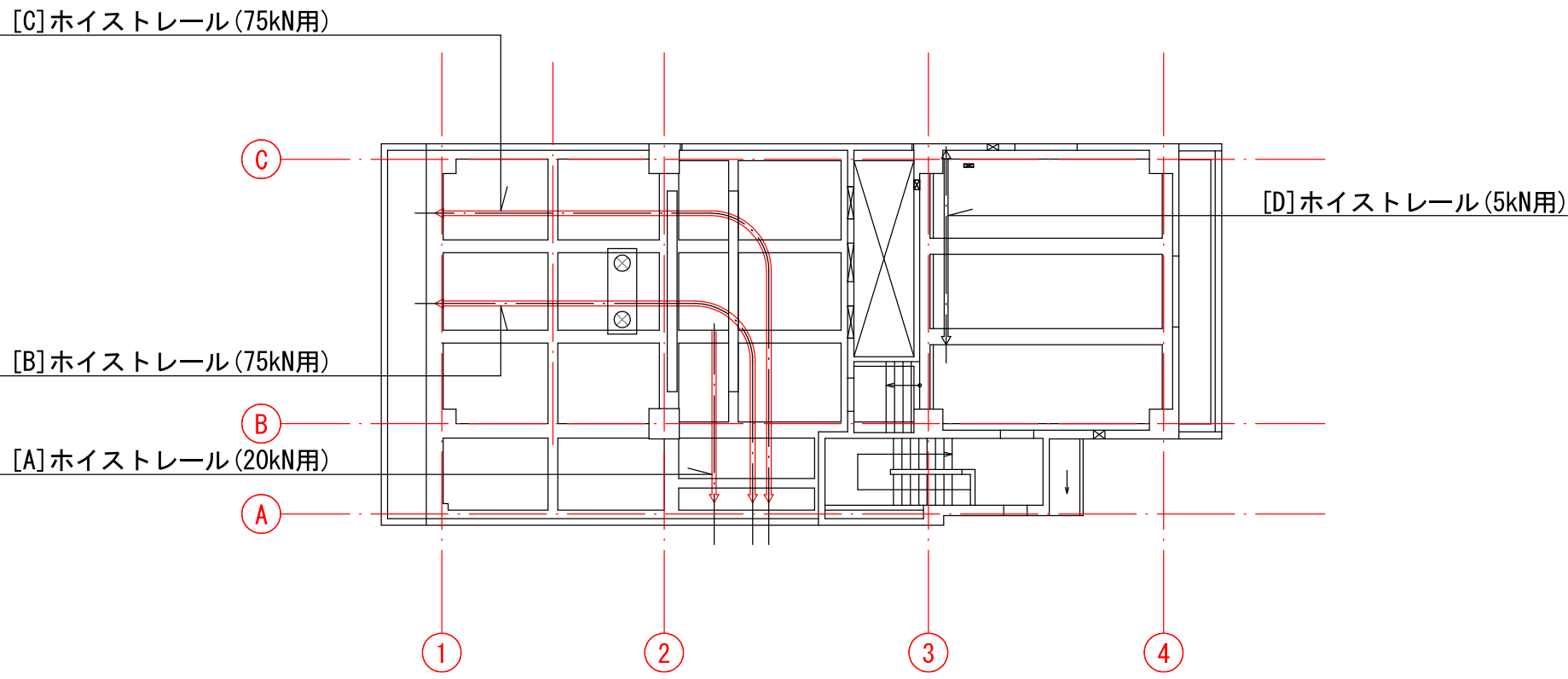
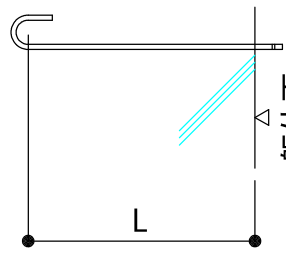
ホイストレール取付詳細図(3)
 S=1:20

- 共通事項

 - 鋼材は、SS400とする。
 - 高力ボルトは、F8T（溶融亜鉛メッキボルト）とする。
 - 鋼材は、溶融亜鉛メッキとする。
 - ストッパー位置は、現場合わせとする。
 - アンカーボルト、高力ボルトは、締めつけ後メッキ塗装とする。
 - アンカーボルト M20は、埋込み長 L=600, 2重ナット締め、フック付とする。
 - 各プレート寸法は現場で測量後、適宜調整すること

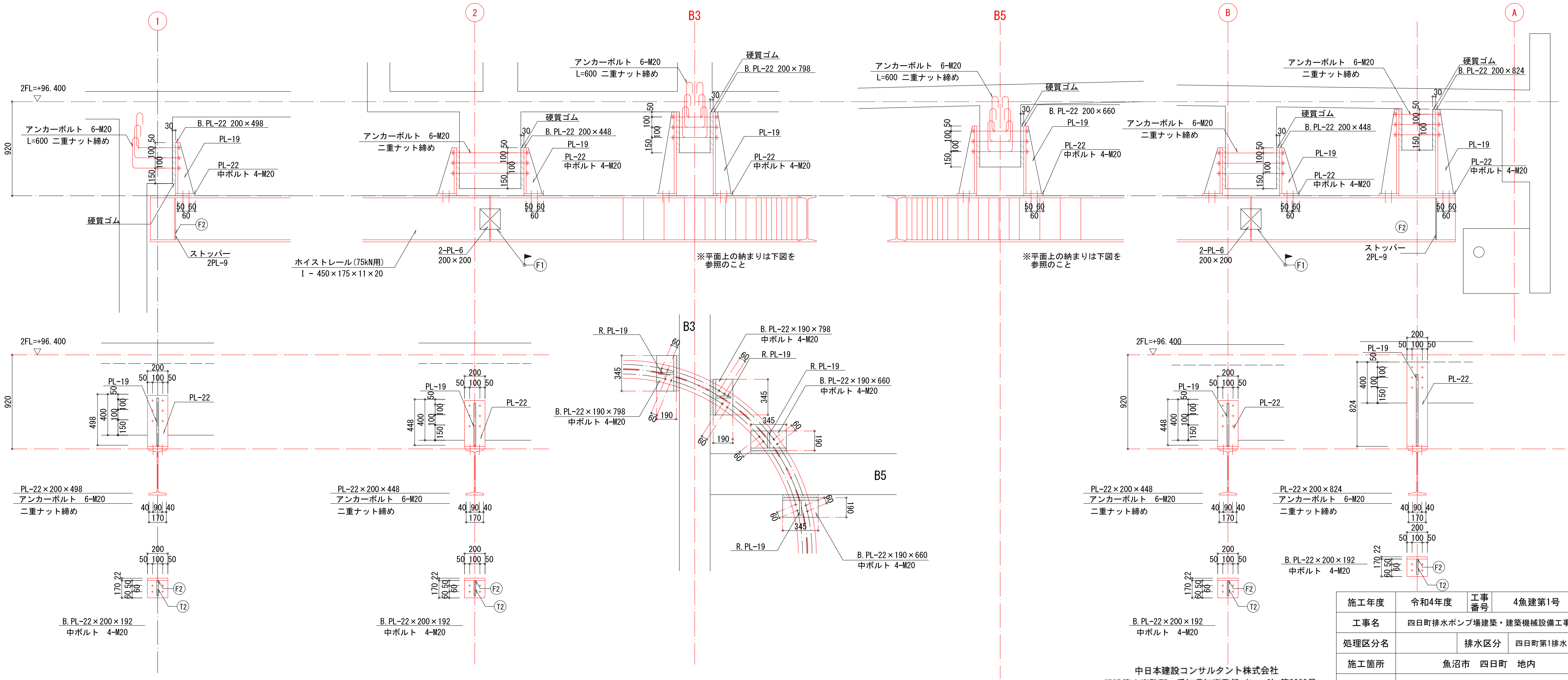
溶接記号凡例	
(F1)	隅肉溶接（片面）
(F2)	隅肉溶接（両面）
(T1)	完全溶込み溶接 T形継手（片面）

アンカーボルト長さ埋込み長さL



2F KEY PLAN

◇印は、ホイストレール支点を示す。



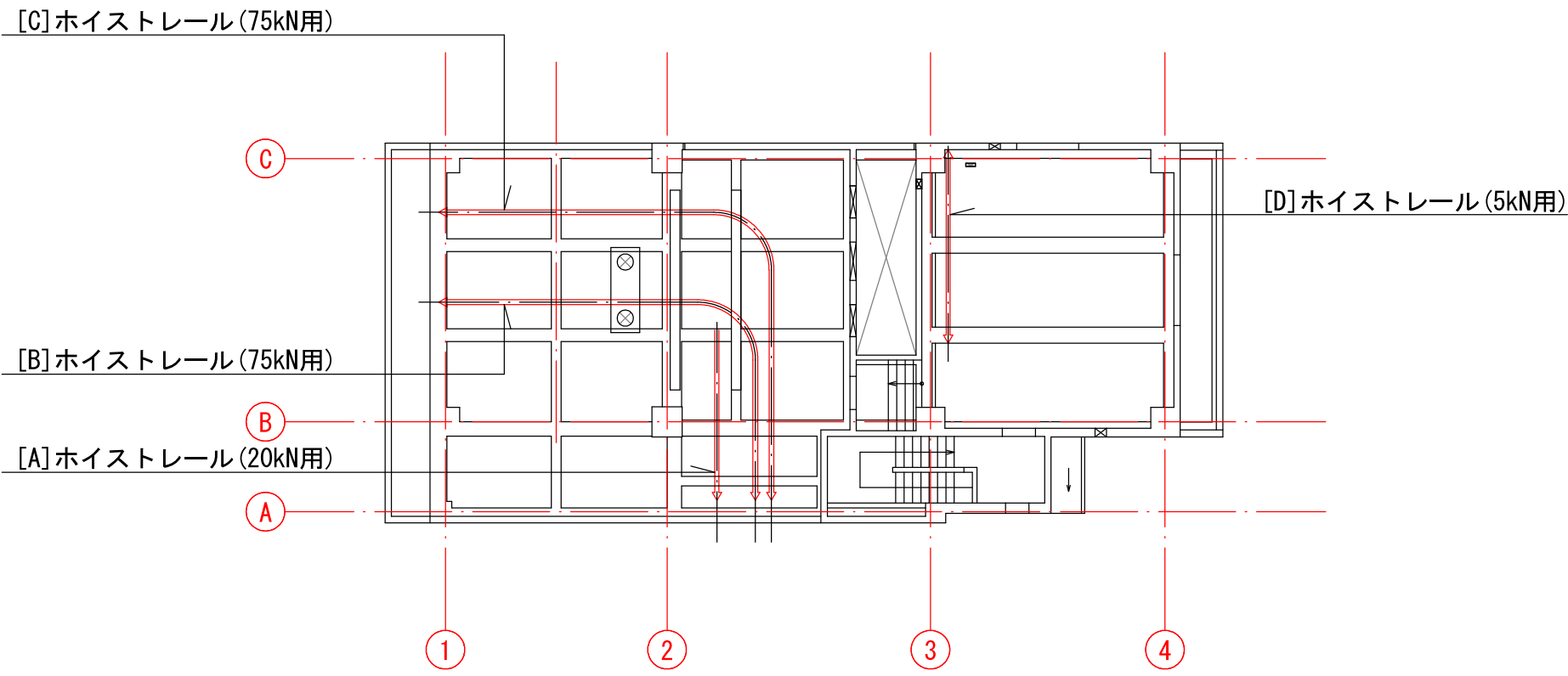
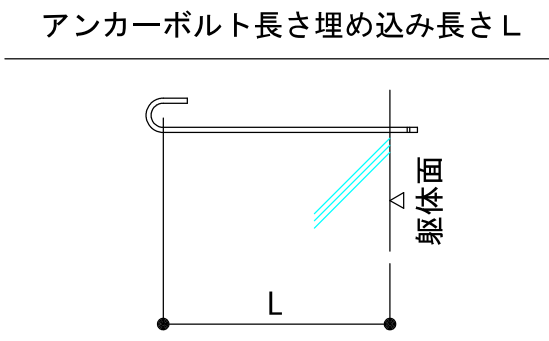
中日本建設コンサルタント株式会社
 一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
 一級建築士（大臣）登録第185246号
 館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号	
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事			
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内			
図面名称	ホイストレール取付詳細図(3)			
縮尺	1:20		図面番号	S-35
課長	係長	審査	調査	設計
				測量
魚沼市産業経済部建設課				

ホイストレール取付詳細図(4)
 S=1:20

- 共通事項
 - 鋼材は、SS400とする。
 - 高力ボルトは、F8T（溶融亜鉛メッキボルト）とする。
 - 鋼材は、溶融亜鉛メッキとする。
 - ストッパー位置は、現場合わせとする。
 - アンカーボルト、高力ボルトは、締めつけ後メッキ塗装とする。
 - アンカーボルト M16は、埋込み長 L=480, 2重ナット締め、フック付とする。
 - 各プレート寸法は現場で測量後、適宜調整すること

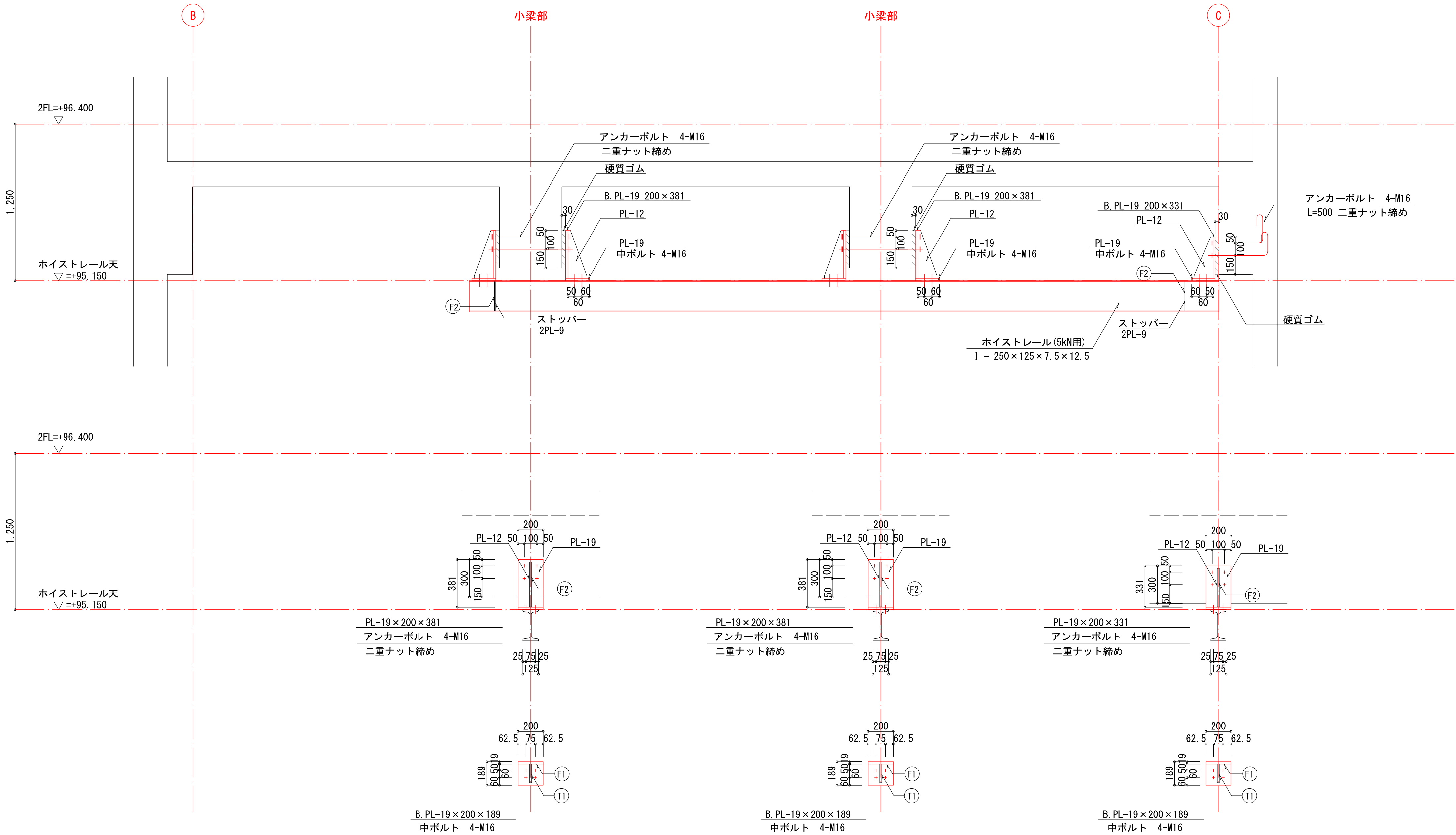
溶接記号凡例	
F1	隅肉溶接（片面）
F2	隅肉溶接（両面）
T1	完全溶込み溶接 T形継手（片面）



2F KEY PLAN

・◇印は、ホイストレール支点を示す。

[D] ホイストレール 5kN用 : 1 - 250×125×7.5×12.5



中日本建設コンサルタント株式会社
 一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
 一級建築士（大臣）登録第185246号
 館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	ホイストレール取付詳細図(4)		
縮尺	1:20	図面番号	S-36
課長	係長	審査	調査
魚沼市産業経済部建設課			